

長者町通り歩道拡幅社会実験

「長者町ウッドテラス」

平成 26 年 9 月 13 日（土）より約 1 週間で設置し、来年 2 月までの社会実験を行います。
 長者町通りの将来を考えるための地域主体の試みに、みなさまのご理解ご協力をお願い申し上げます。



実施主体：錦二丁目町内会連合、下長者町町内会、名古屋長者町織物協同組合、錦二丁目まちづくり協議会
 お問い合わせ先：長者町織物協同組合事務所（下長者町町内会）（中区丸の内 2-19-10 電話 052-231-6047）

- 【名称】 長者町通り歩道拡幅社会実験
- 【実施主体】 錦二丁目町内会連合、下長者町町内会、名古屋長者町織物協同組合、錦二丁目まちづくり協議会
- 【実施期間】 平成 26 年 9 月中旬から 2 月中旬（約 6 か月間）
- 【場所】 名古屋市道 長者町通の一部（中区錦二丁目 5 番街区地先）
- 【目的】 一方通行逆行やスピード超過など危険な車両走行を抑制し、歩行者が安心して快適に利用できる歩行者空間を確保するため、車道を狭めて歩道空間を拡幅する社会実験を行います。社会実験により、沿線地域の意見や理解を深めつつ、歩道拡幅による効果や実施課題を把握して、将来の道路空間のあり方を検証します。
- 【実施概要】 長者町通り車道部の東側幅 2m の範囲を縁石で囲んで東側の歩道拡幅部分とする。その結果、車道幅員は現状の約 9m から約 7m に狭め、東側の歩道幅員を現状 3m から 5m に広がります。縁石で囲んだ歩道拡幅部分には既存の歩道と高さを合わせるために木材によるデッキ構造物を設置します。木質デッキにすることで設置および撤去時の既存道路構造物への負担をできるだけ少なくします。

【経 緯】

下長者町や本重町など錦二丁目地区の町内会では、自動車の一方通行逆行やスピード超過の通過交通、自転車と歩行者の交錯や路上駐輪など道路空間の問題を抱えています。錦二丁目まちづくり協議会では「これからの錦二丁目長者町まちづくり構想 2011-2030」を策定し、そうした町内会からの要請を受けて、重点プロジェクトとして公共空間デザインプロジェクトを立ち上げて地元町内会や織物協同組合とともに道路空間の再編計画を検討してきました。その中で、錦二丁目地区でも比較的歩道が狭く課題の多い長者町通りを道路空間再編の先行的モデルとして歩道拡幅の社会実験を行うことになりました。



現状の長者町通りと社会実験の仮設歩道設置位置

地域による自発的な社会実験。仮設整備も地域の人々の手で。

あひめでちようしよまちみちがしん
長者町・道普請
 長者町ウッドテラス（長者町通り歩道拡幅社会実験）
 お知らせとご協力のお願い

町内会、織物協同組合、まちづくり協議会で準備を進めてまいりました「長者町通り歩道拡幅社会実験」がいよいよ実施します。従来の長者町通りの安全で快適な公共空間の創造をめざす試みとして、本道による仮設歩道（ウッドテラス）を設置します。地域の皆様にはご不便をおかけしますが、何とぞご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。この社会実験は、地域の人々が自ら発意し、自ら設置・管理するものです。そこで、「長者町・道普請（みちぶしん）」と題して、仮設歩道の組み立て・設置作業にも地域の皆様のご協力をお願いする次第です。【名古屋から日本では、最も中核的な街並みの公共空間再編による街路空間の「実験」として行われていることに関して「あひめでちようしよまちみちがしん」下記の間際中は、現地で材料や道具を用意しています。お仕事の合間の少しの時間でも結構です。できるだけ多くの方々にご協力をお願い申し上げます。

【設置作業】「長者町通り歩道拡幅社会実験（長者町ウッドテラス）」
 実施主体：錦二丁目町内会連合、下長者町町内会、名古屋長者町織物協同組合、錦二丁目まちづくり協議会（協議中設置中）
 実施期間：平成 26 年 9 月 13 日から平成 27 年 2 月 15 日（約 6 月間）

【期間】9/13(土)～14(日) 路上の縁石アーク設置工事

【作業】9/15(月祝)～18(木)4日間 毎日3回
 午前10時から、午後3時から、午後5時から
【長者町・道普請】本道仮設歩道の取付け作業
 場所：長者町通り路上（中區大塚通）古河曲り
 地域の人々が本材料約 500 本をばさで取付けます。それ以外の時間解放。作業しやすい環境をお願いします

■実施平面図



■断面詳細図



将来的な利活用のイメージ

森林資源の持続性と都市の木質化に向けて 名古屋市中区錦二丁目・歩道拡幅の社会実験

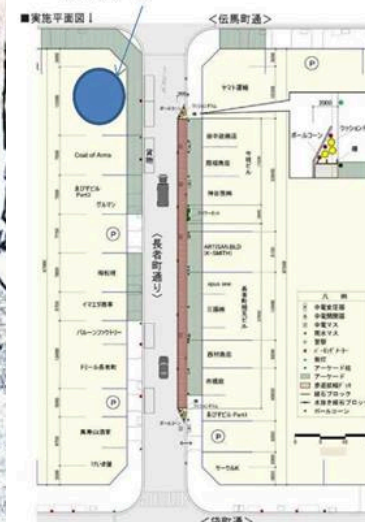


「長者町ウッドテラス」社会実験を考える



このたび、錦二丁目長者町で道路空間の再編計画の検討の一環で長者町通り歩道拡幅社会実験として「長者町ウッドテラス」を設置しました。一方通行逆走やスピード超過などの危険車両を抑制し、安心して快適な歩行者空間の確保を目的とした約6か月の社会実験です。地域が費用を工面し、維持管理も行う地域主導で実現しました。その他に、森林と都市を繋ぐ都市の木質化プロジェクトの活動や、地域が取組む低炭素モデル地区など、地域主導で進む総合的なまちづくりが進んでいます。今回は地域・都市デザインに関わる専門家と交え、「長者町ウッドテラス」や都市景観、公共空間、地域コミュニティ等について議論したいと考え、ミニシンポジウムを開催します。

ミニシンポジウム開催場所
吉田商事 1階



ミニシンポジウム

日時：2014年10月11日（土）
15:00~17:30
(事前登録なし、当日参加OK)

場所：吉田商事 1階
住所：名古屋市中区錦二丁目6-10

パネラー
対話計画 藤森幹人
竹中工務店 河崎泰了
岐阜市立女子短期大学教授 柳田良造

まとめ
NPO法人まちの縁側育くみ隊代表 延藤安弘

コーディネーター
東京大学准教授 村山顕人



「JUDI都市環境デザイン会議」は、まちづくり、建築、土木、ランドスケープ、照明デザイン、コミュニティデザイン、各種メーカーに所属する専門家、学識経験者など、様々な分野の専門家で構成されています。また、専門家だけではなく、一般の市民も参加している、「日本学術会議」の規定する「日本学術会議協力学術研究団体」です。

主催：JUDI都市環境デザイン会議中部ブロック・錦二丁目まちづくり協議会
問い合わせ：錦二丁目まちづくり協議会 事務局： 名畑：052-201-9878
JUDI都市環境デザイン会議中部ブロック 河崎：052-201-0638

森林資源の持続性と都市の木質化に向けて
名古屋市中区錦二丁目・歩道拡幅の社会実験



プラン: 藤森幹人(対話計画), 大橋俊夫(建築設計室 再生空間)

森林資源の持続性と都市の木質化に向けて
名古屋市中区錦二丁目・歩道拡幅の社会実験



プラン: 藤森幹人(対話計画), 大橋俊夫(建築設計室 再生空間)